令和4年度 第20号

進路だより

令和5年3月10日発行 青森県立黒石養護学校 進路指導部





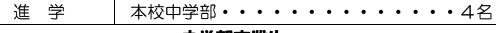
今年は数年ぶりの大雪でしたが、このところは暖かい日が続き、ここ温湯地区でも春の息吹 が感じられるようになりました。

今年度は小学部4名、中学部2名、高等部3名が希望を胸に次のステージへ進みました。新し い進学先、進路先でのさらなる成長と活躍を応援しています。また、これまで子どもたちをしっか りとサポートしていただいた卒業生保護者の皆様にもお祝いを申し上げます。

卒業生の進路は以下のとおりです。

~小学部卒業生~





~中学部卒業生~

本校高等部・・・・・・・・・・2名 進 学

~高等部卒業生(内定先)~

一般就労	オリンパスサポートメイト
	株式会社青森事業グループ(黒石市)・・・1名
進学	障害者職業訓練校(弘前市)・・・・・1名
	櫻舞う郷本部(グループホーム)を利用します。
生活介護	黒石苑(黒石市)・・・・・・・1名



オリンパスサポートメイト株式会社青森事業グループは、オリンパスの特例子会社 です。ここでは、障害のある方たちが社内清掃を中心に、1日約7時間半勤務してい ます。もちろん正社員としての採用です。

うちの子だったらどうかな・・・

小・中学部の保護者の方にとっては、まだまだ先のことかもしれません。高等部の保護 者の方であれば、個人面談でも進路についての話題も出ますので「うちの子はどうする かな…」と考えている方も多いと思います。



昨年の保護者進路研修の際にもお話ししましたが、"子どもたちの将来を考える"ということは、自分 たち"親の老い"を考えるのと同じなのです。老後の準備といってもピンと来ないかもしれませんが、親亡 き後の我が子の生活については、かなり前から準備しなければ間に合いません。将来、グループホームに 入居しなければならなくなってから、あれもこれも「明日から一人でやってね!」といっても無理ですよね。 親が急に入院したり、家族の手術付き添いで家を留守にしたり・・・等といったことも、いつやってくるか も分かりません。何も準備していなければ、親も子も不安になることでしょう。

「何から手をつければ?」と迷ったら、「進路だより」を読み返したりインターネット等で情報収集したり することで、「うちの子だったらこれがよいかも!」と考える材料を少しずつ増やしていきましょう!

子どもの将来・準備



親の老後・親亡き後の準備